

A
MEL GIBSON
FILM

THE
PASSION
OF THE CHRIST

www.thepassionofthechrist.com



誰も描けなかった、真実ゆえの衝撃。

アカデミー賞[®]監督メル・ギブソンが挑む
イエス・キリスト最後の12時間。

全米2000館の超拡大公開後、いよいよ日本へ——。



パッション

THE PASSION OF THE CHRIST

アカデミー賞を席卷した「ブレイブハート」の監督、俳優メル・ギブソン。
彼が12年もの構想歳月を費やし、
2,500万ドル(約30億円)という私財を投じて完成させた渾身の衝撃作。
スクリーンに映し出される、人間イエス・キリスト最後の12時間。
想像を絶する痛み、恐ろしい苦しみの中の、奇跡の復活——。

「パッション」とは、キリストの「受難」。

おそらく、世界中で最も有名なキリストの最後、イバラの冠をかぶらされ、
重い十字架の横木を背負い、ゴルゴダの丘で両手両足を釘打ちされた十字架刑の事実を、
ここまで忠実に映画化したものはない。

その凄惨さゆえに全米ではR指定となり、ローマ法王をも巻き込んだ論争に発展、
公開前にもかかわらず、世界中のメディアが連日報道。

脚本はすべてラテン語、アラム語という、1世紀のパレスチナで話されていた言語で書かれ、
衣装、食習慣から、キリスト役の俳優の瞳の色、顔つきまで変えるほど
徹底してリアリティにこだわった。

撮影はイタリアのマテーラ、ローマのチネチッタスタジオをメインに約半年間行われた。

敬虔なカトリック信者でも知られるメル・ギブソン。

監督第3作目にして自らのパッション(情熱)のすべてをフィルムに焼きつけた本作は、
キリストの人生、死、復活の意味を、
圧倒的な映像の力で語りかけてくるにちがいない。

どうか、目を背けないでほしい。すべては、その受難の後に始まるもの——。

監督・製作・脚本:メル・ギブソン(「ブレイブハート」アカデミー賞受賞)

主演:イエス・キリスト...ジム・カヴィーゼル「シン・レッド・ライン」/マгдаラのマリア...モニカ・ベルッチ「マトリックス リローデッド」/母マリア...マヤ・モルゲンステルン「ユリシーズの瞳」/サタン...ロザリンド・チャレンターノ
製作:アイコン エンターテインメント インターナショナル、マーカス・フィルム 2004年/アメリカ・イタリア合作
配給:日本ヘラルド映画/宣伝:日本ヘラルド映画 アートハウス・チーム×メディアボックス

© 2004 by ICON DISTRIBUTION, INC. All Rights Reserved.

5月[真実]のロードショー

オリジナル・ポストカード付(限定)

前売鑑賞券¥1,500(税込)好評発売中! (当日:一般1,800の処)

シアトル SHINJUKU
タイムズスクエア

JR新宿駅南口徒歩2分 タカシマヤタイムズスクエア 12F
03(5361)1937
<http://webs.to/times>

